

いつか大三島にIT村を！



増田 茂樹さん・理絵さん

【プロフィール】

広島県因島出身（茂樹さん）
大阪府出身（理絵さん）
2016年に大三島に移住

【仕事内容】

リモートワークの傍ら『オオミシマスペース』を経営
空き家だった民家をリノベーションして宿泊施設として営業

私たちは大阪のシステム会社で出会いました。夫婦で将来の夢を話し合う中で、「田舎で仕事をしたい」、「移住後に人が集まれる場を作りたい」と思うようになりました。しかし、大三島では自分たちの技術や経験を生かせる仕事が見つからなかったため、当時勤めていた会社と相談して、リモートワークをさせていただくことになりました。

正社員でありながら、仕事は完全にリモートです。資料はすべてペーパーレスで、クラウド上で共有しており、他社員とのコミュニケーションはチャットやビデオ会議を使用しています。通勤時間の削減で家族との時間をより多く作ることができますが、リモートワークは結果が全てという厳しい部分もあります。

大三島を選んだのは、仕事で「理想の暮らし」というワークショップの設計をする機会があり、そのリハーサルをしたのがきっかけでした。大三島に住み始めてすぐにこの土地が気に入りました。朝は鳥の鳴き声で目覚め、お気に入りの浜辺で散歩をするなど何気ない日常に素敵なシーンがたくさんあります。リモートワークの傍ら、大三島の魅力を発信する方法や、移住者を増やす方法を考えた際、「仕事もできる宿泊施設を作りたい」と思うようになりました。まずは空き屋を購入し、友人の設計士にベースとなるスケッチを描いてもらい、あとは自分たちでデザインし、宿泊施設兼仕事場としてリノベーションしました。ただ単に、観光客の方が宿泊して終わりというのではなく、新たなワークスタイル・移住スタイルの確立や地域住民と移住者の橋渡しとしての役割を担っていけたらいいなと思っています。

【移住を考える人へ】

大山神社のある大三島町とは反対側の上浦町にも可能性が広がっています。

のんびりゆっくりと仕事に集中できるので、オフィスワーカーの方は、仕事を持ってくると仕事はかどります。

今の夢は、甘崎周辺をIT村にしたい、中期滞在できるゲストハウスを作りたい、空き家を活用したいなど、まだまだたくさんあります。大三島にもいつかIT村ができる時代が来るかもしれません。

